

福島敦子著「ききわけの悪い経営者が成功する」毎日新聞社 2002年2月5日刊を読む

ききわけの悪い経営者が成功する

1. 経済の世界は、実に人間くさい世界である。何万人もの社員を抱える大企業であろうが、数えるほどの少人数の中小企業であろうが、組織は人の集合体である。それを率いる経営者もまた、人なのである。変化の激しい時代に適応し、厳しい競争に勝ち抜くために、業種を問わず、どこの企業も必死に改革に取り組んでいるが、組織改革ということは、そこにかかわる一人一人の精神改革に他ならない。人が変わらなければ、組織も変わらない。そして経営者の信念、生き方こそが組織を動かす原動力なのである。
2. 企業経営者との対談を通して、つくづく経営は人であるという事実を実感してきた。経営者たちのたゆむことなく挑戦を続ける姿に、人として大切なことをいくつも教えられてきたのである。こうした貴重な出会いを持てたことを心から幸せに感じている。そして拙著を通じて、そんな思いを読者に共有していただければ、こんな嬉しいことはない。

[コメント]

競争に勝ち抜くためには業種を問わず組織改革が大事。

組織改革とは、全社員の意識改革。経営者の信念、生き方こそが組織を動かす原点という福島先生の教えはすべて正しい。どのように各々の企業がこの大テーマ取り組んでいるのか。じっくり研究できるのが本書である。

- 2009年12月28日 林明夫記 -